＜ 合歓のうた ＞

― 諦めない力 ―

日本時間 23 日に幕を閉じたミラノ・コルティナ冬季オリンピックに私も思わず声を上げたり、手を合わせて祈ったりとハラハラドキドキのテレビ観戦でした。どの競技、どの選手も順風満帆であった訳ではなく怪我やスランプに悩まされながら漸くこの大舞台に立てていること。そして更に１秒でも１ｍでも１点でも前へ前へと完成度を上げて挑戦する姿に胸が熱くなりました。

大きなプレッシャーの中で、どうやってこの力が出せるのだろう。そのこたえは選手の方々のインタビューにあるように思いました。「努力は裏切らないですね。コーチや周りの人達にも支えてもらいました。」と夢を持ち続け、その実現に向けてコツコツと努力してきたことが自分の自信となり、周囲の支えが勇気になっているのだなと感じました。今回思うような力が発揮できなかった選手も「次の大会では必ず良い結果が出せるように又練習します。」と力強い言葉でした。アスリートの言葉と姿には私達にも生きるための力をもらえたのではないかと思います。

「きみならできるよ。」

「わたしならできる。」

もうすぐ進学、進級を迎える子ども達にも
フレー！フレー！と応援していきたいと思います。